

平成22年度貝毒プランクトン出現状況(No.11)

通報番号 (MG) - (22) - (18)  
 通報月日 平成22年6月28日  
 機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	水深 (m)	水温 ( )	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備 考 (他 <i>Dinophysis</i> 属の内訳)
					<i>D.fortii</i>	<i>D.acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.	
荻浜内	6/28	0	21.5	30.20	0	10	0	0	
		5	16.0	32.02	0	0	0	0	
		10	13.0	33.22	0	0	0	0	
荻浜沖	6/28	0	21.6	29.74	0	0	0	0	
		5	16.0	32.71	0	90	0	0	
		10	13.6	33.11	40	150	20	0	<i>D.rudgei</i> <i>D.norvegica</i>
		15	12.3	33.45	10	10	0	0	
塚 浜	6/28	0	19.3	32.55	0	0	0	0	
		5	14.3	33.31	100	10	0	0	
		10	12.3	33.56	100	0	0	20	
		15	11.3	33.62	80	0	0	0	
		20	10.7	33.68	80	0	10	0	<i>D.rudgei</i>
		底	10.3	33.66	20	0	0	0	

底はB-1m(27.0m)

担当:環境資源部 菊地・鈴木・武山  
 TEL:0225-24-0138,FAX:0225-97-3444

下痢性貝毒プランクトンである*D.fortii*は前回(6月17日調査)と比べて荻浜内湾、沖合共に変わりませんでした。  
*D.acuminata*は前回(6月17日)と比べて荻浜内湾、沖合共にほとんど変わりませんでした。  
 塚浜では、前回(6月17日調査)と比べて*D.fortii*は増加しました。*D.acuminata*はほとんど変わりませんでした。

麻痺性貝毒プランクトンである*Alexandrium* spp.は塚浜で出現した。

水温は荻浜湾では(6月17日調査)と比べ内湾底層ではほとんど変わりませんでした。沖合底層では約1  
 上昇しました。

現在、宮城県南部海域産ムラサキイガイは、平成22年5月20日付けで出荷自主規制措置を講じています。  
 また、宮城県北部海域産ムラサキイガイが平成22年6月17日付けで出荷自主規制を講じています。